

# 自然科学のとびら

Newsletter of the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

Vol. 31, No. 2 神奈川県立生命の星・地球博物館 Jun. 2025



## きれいになって鳴きました ーサハラ砂漠の鳴き砂？ー

194時間洗浄したサハラ砂漠の砂粒  
(左下のスケールは0.1 mm)

いしはま さえこ  
石浜 佐栄子 (学芸員)

足で踏んだり手で擦<sup>こす</sup>ったりするとキュッと高い音を出す砂のことを「鳴き砂(鳴り砂)」と呼びます。表面がとてもきれいに洗われた、大きさの揃<sup>そろ</sup>った石英<sup>せきえい</sup>等の粒子が、互いに擦れあ<sup>あ</sup>うことで音を出します。かつて東北地方の三陸海岸や西南日本の日本海側では、鳴き砂のある海岸が多く分布していました。しかし粒子の表面に少しでも汚れ(微粒子)がつくと鳴かなくなってしまうことから、現在、鳴き砂海岸の数は激減しています。「鳴き砂ではない石英の粒子でも、

非常によく洗浄すれば鳴くことがある」という話を聞き、企画展「すな」の開催準備中、当館が所蔵するサハラ砂漠の砂を洗浄してみました。密閉した容器の中に砂と水を入れ、毎日水を入れ替えながら、振とう機で揺すり続けること194時間。ガラスの容器に入れ、棒で突いてみると…キュッ！確かに鳴きました！顕微鏡で見ると、表面についていた鉄サビの赤茶色が薄くなり、光沢を帯びるほどツヤツヤ磨かれた砂粒になっていました。